



議会たより よつかいどう

発行：四街道市議会
TEL.043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会
FAX.043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp



表紙写真
募集!

平成28年 消防出初式

（ 場 所：中央公園
撮影日：平成28年1月9日
提 供：消防本部 ）

市議会たよりでは、市民の皆さまからの公募写真を掲載します。
詳しくは16ページをご覧ください。

主な内容

- 主な議案の概要及び
委員会審査概要 2～5
- 採決結果一覧・・・5
- 一般質問・・・6～11
- 委員会行政視察レポート
・・・・・・・・・・12～14
- 議会報告会の概要
・・・・・・・・・・15～16

次回の定例会は3月10日開会の予定です

定例会の日程は、3月上旬に市ホームページに掲載する予定です。
本会議の傍聴は、開会30分前から受付をしています。
本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます。
(生中継と録画中継があります)

市ホームページアドレス

<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp>

詳しくは議会事務局 TEL.043-421-6152 (直)まで
お問い合わせください。



主な議案の概要及び委員会審査概要

今議会では、専決処分の承認、条例の制定及び改正、一般会計・特別会計補正予算など22件の議案と3件の発議案の審議や議決が行われました。

主な議案と委員会での審査内容は以下のとおりです。
(採決結果一覧はP5)

総務

議案第2号 四街道市防災センター設置及び管理に関する条例の制定について(可決)

防災に関する意識の高揚及び知識の普及を図るため、設置及び管理運営に関する必要な事項を定めるため提案されたものです。

質 第4条において、防災センターの業務は指導及び会議、研修などであるが、休館日が12月28日から1月4日までであり、開館時間が午前9時から午後9時までとなっている。突然でも来訪者があれば、誰かが案内して説明してくれるのか。

答 四街道市防災センターについては区・自治会または消防団及び自主防災組織の育成に必要な訓練の実施、講習会の開催あるいは防災・消防に関する知識の普及、啓発を行うことを考え

ており、利用するには、10日前までに申請していただく必要がある。

議案第3号 四街道市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について(可決)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項の規定に基づき、個人番号の利用に關し必要な事項を定めるため提案されたものです。

質 利用範囲について、高齢者関係、就学援助、成年後見人など触れていないが、法の範囲で対応するのか。

答 法定事務と独自利用事務があり、法定事務は大きく29事務あり、詳細に分けると129事務になる。法定事務では、被災者関係から税関係、住民基本台帳、老人保護措置、介護、障害

者支援、子ども、助産、児童、母子、父子、寡婦、児童手当など、かなり多くの分野に分かれているという状況である。

質 家族慰労金や就学援助、成年後見人などもすべて法定事務に入っているから、条例に明記する必要がないということか。

答 学務課の関係事務では、学校保健安全法による医療に要する費用についての援助事務は法定事務の中に入っている。しかし、特別支援教育就学奨励費、要保護及び準要保護児童生徒の認定等に関するものは、今後、平成29年7月の市町村間の運用に向けて、入ってくる事務になる。

議案第12号 四街道市大熊記念コミュニティセンターの指定管理者の指定について(可決)

四街道市大熊記念コミュニティセンターの管理を指定管理者に行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定により提案されたものです。

質 指定候補者選定評価表によると、トラブルの未然防止策や対処法、災害対策、個人情報保護に関する措置等が25点中16点と非常に低い点数だと思いが、どう考えるのか。

答 全体で358点であることから、総合点において評価をいただいていると考えている。

議案第17号 平成27年度四街道市一般会計補正予算(第4号)(可決)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億4660万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ269億7755万3千円とするものです。繰越明許費については、こどもルーム運営事業1件を設定するものです。

債務負担行為については、電子調達システムサービス使用料ほか11件を追加するものです。

質 (総務常任委員会所管事項) 市民自治組織運営補助事業の不足分とは何か。

答 当初予算として500万円を計上していたが、実施事業が67団体で116事業になったことから、539万2千円という額が見込まれたので、当初予算から差し引いた39万2千円を補正予算として計上したものである。

質 地域災害対策事業の交付金がおろなかったと聞いたが、具体的にどのような内容で交付の

申請をしたのか。また、交付金
 がおりなかったことにより、今
 後の対応はどうなるのか。
答 三才区ともねの里3丁目
 ついて、灯光器、発電機等の設
 置にかかる交付金申請を県にし
 た。平成27年度は6市町村で採
 択されたが、当市については採
 択されなかったという状況であ
 った。平成28年度については採
 択されるよう努力したいと考え
 ている。

都市環境

**議案第1号 専決処分の承認を
 求めることについて
 (承認)**

平成27年度四街道市一般会計
 補正予算(専決第1号)につい
 て、地方自治法第179条第1
 項の規定により専決処分したの
 で、同条第3項の規定により提
 案されたものです。

補正の内容は、既定の歳入歳
 出予算の総額に歳入歳出それぞ
 れ2067万5千円を追加し、
 歳入歳出予算の総額を歳入歳出
 それぞれ265億3094万7
 千円とするものです。

質 補正予算にかかる事業の詳

細な説明を。

答 鹿放ヶ丘を考える集いの開
 催、6次産業に向けた体制の構
 築、地域農産物を活用した加工
 品の開発、着地型旅行商品の開
 発、鹿放人写真展等の開催、古
 老の語り映像化が主なものであ
 る。

質 加工品開発について将来に
 つなげるためにもプロの方たち
 のアドバイスを受けてみてはど
 うかと考えるが如何か。

答 今回は試作品をつくり、こ
 の試作品を市内の事業者の方た
 ちに広く宣伝をさせていただき
 たいと考えている。

**議案第4号 四街道市農地
 利用最適化推進委員の定数
 を定める条例の制定につい
 て(可決)**

農業委員会等に関する法律の
 一部改正に伴い、農地利用の集
 積・集約化、耕作放棄地の発生
 防止・解消等の地域における現
 場活動を行うため農地利用最適
 化推進委員が新たに設置された
 ことにより、農地利用最適化推
 進委員の定数を定めるため提案
 されたものです。

**議案第8号 四街道市農業
 委員会委員の定数を定める
 条例の一部を改正する条例
 の制定について(可決)**

農業委員会等に関する法律の
 一部改正に伴い、農業委員会委
 員の定数に関する規定を整備す
 る必要が生じたため提案された
 ものです。

※議案第4号と第8号は、一括
 審査を行いました。

質 農業委員と推進委員の任期
 等は法律に明記されているのか。
 条例で規定する必要はないか。

答 農業委員の任期については
 3年と法律に明記されている。
 改めて条例で記載する必要は無
 いと考えている。また、推進委
 員についても同様である。

質 農地利用最適化推進委員が
 新たに設置されるわけだが、例
 えば農地を所有しているが高齢
 で耕作ができない、処分しよう
 としても処分できない等の理由
 で、仕方なくヤード等に貸して
 しまうことがあったが、今後は
 解消されて行くのか。

答 農業委員会の業務として農
 地の集積集約、耕作放棄地の解
 消・防止等について、今までは
 任意の業務という位置づけであ
 ったが今回の法律の改正によっ
 て義務化され今後一層農業委員
 会が、耕作放棄地の防止等のた
 め農地として維持して行くこと
 を強力に進めて行くための法律
 改正になっているので何らかの

形によって進展して行くものと
 考えている。

**議案第14号 四街道市営
 園の指定管理者の指定につ
 いて(可決)**

四街道市営霊園の管理を指定
 管理者に行わせるため、地方自
 治法第244条の2第6項の規
 定により提案されたものです。

質 選定表を見る限りでは合格
 点には達しているが、まだまだ
 見直すところも多くあると思う
 がどのような考えか。

答 基本的には市から委託して
 いる業務をほぼ適切に行なって
 いると思うが、今後更なる利
 用者のサービス向上に向けて指
 定管理者と市が一体となって進
 めていきたいと考えている。

**議案第17号 平成27年度四
 街道市一般会計補正予算
 (第4号)(可決)**

〈都市環境常任委員会所管事項〉
質 道路維持工事費1千万円は
 市民要望に答えるためとあった
 が、優先順位は決定しているのか。
答 1千万円については、大枠
 での予算要望であり工事の内容
 が決定している訳ではなく、緊
 急性があるものから予算を執行
 して行くものである。

質 道路新設改良費の委託料について、四街道3丁目とあるがどのような目的で行なうのか具体的な説明を。

答 四街道3丁目地先は四街道十字路で目的は、十字路の安全対策になる。

質 循環型社会形成推進地域計画策定業務委託、ごみ処理施設整備基本構想策定業務委託について今後のスケジュールの説明を。

答 循環型社会形成推進地域計画策定業務委託については、予算確定後すぐに発注し、来年度10月に県に提出、同年度3月に環境省の承認となる。また、ごみ処理施設整備基本構想策定業務委託についても同様に予算確定後すぐに発注し、概ね来年度9月・10月までには計画の策定を進めて行きたいと考えている。

議案第19号 平成27年度四街道市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)(可決)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1216万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ15億7258万2千円とするものです。

質 下水道事業費の維持管理費について場所はどこか。

答 主な工事場所は、四街道北高校の南側の県道千葉白井印西線の歩道である。9月28日に歩道が陥没したためその補修をするものである。

議案第20号 平成27年度四街道市霊園事業特別会計補正予算(第1号)(可決)

補正の内容は、債務負担行為について、四街道市営霊園指定管理料を設定するものです。

質 平成28年度から32年度まで同一金額で継続することによってよろしいか。

答 指定期間は平成28年度から平成32年度の5カ年となる。限度額については前指定期間と比較して5年間総額で926万5千円、単年度では185万3千円の増加となっている。

教育民生



議案第5号 四街道市障害者就労支援センター条例等を廃止する条例の制定について(可決)

四街道市障害者就労支援セン

ターの用途廃止を行い、関係条例を廃止するため提案されたものです。

質 障害者就労支援センターの土地、建物、機械等の処分は今後どのようにするのか。

答 現段階では、今後の利用について特に決まっていない。

質 剰余金はあるのか。

答 毎年、決算時に剰余金が出ている。

質 障害者就労支援センターのクリーニングサービスの現在の利用者への説明は。

答 利用していただいている契約者には事情を説明して、ご理解をいただいている。

議案第9号 四街道市国民健康保険条例及び四街道市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、保険料の減免及び保険料の徴収猶予等に係る申請書に個人番号を加えるため、提案されたものです。

質 個人番号の使用について介護保険事業者からの問い合わせに対する対応方法はどのようにするのか。

答 個人番号運用についての通

知が国からまだ示されていないので、検討中である。

議案第10号 損害賠償の額を定めることについて(可決)

公用車を運転中、車両への損害及び運転者を負傷させた事故に対する損害賠償額を決定するため、地方自治法第96条第1項第13号の規定により提案されたものです。

質 事故を起こした職員は行政処分を受けたのか。

答 安全運転義務違反で5点受けている。

議案第17号 平成27年度四街道市一般会計補正予算(第4号)(可決)

〈教育民生常任委員会所管事項〉
質 施設用備品として総合公園体育館の券売機を購入することのことだが、更新は何年ごとに行っているのか。

答 基準はないが、今回更新する券売機は購入後10年が経過し、経年劣化による不具合が生じていることと、利用者の利便性の向上を図るため、買い替えるものである。

質 特別支援教育支援員の賃金が増額された理由は。

答 年度当初より支援を必要と

標準市議会会議規則の一部改正に伴う整理及びその他所要の整理を行うため提案されたものです。

発議案第7号 四街道市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について(可決)

議会運営委員会の委員の定数を変更するため、その他所要の整理を行うため提案されたものです。

発議案第6号 四街道市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

議会運営

質 南小学校のこどもルームは、敷地のどこに、どのようなものを作るのか。

答 プールの脇に、40名定員の2ルーム分の施設で、200㎡程度の建物を予定している。

質 こども医療費が増額の理由は、自然増等によるもので、今年度は2・7%増えているので、予算計上したものである。

する子どもが増えたため、支援員1名分の予算を計上したものである。

平成27年第4回(12月)定例会採決結果一覧

全：全員賛成 多：賛成多数 少：賛成少数 ○：賛成 ×：反対 退：退席

番号	議案名	結果	関根登志夫	成田芳律	中島康一	清水清子	大谷順子	戸田由紀子	齊藤耀一	宮崎昭彦	岡田哲明	山本裕嗣	高橋絹子	吉本貴美子	長谷川清和	※石山健作	清宮一義	阿部治夫	森本次郎	市橋誠二郎	広瀬義積
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第2号	四街道市防災センター設置及び管理に関する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第3号	四街道市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第4号	四街道市農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第5号	四街道市障害者就労支援センター条例等を廃止する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第6号	四街道市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第7号	四街道市税条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第8号	四街道市農業委員会委員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第9号	四街道市国民健康保険税条例及び四街道市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第10号	損害賠償の額を定めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第11号	四街道市土地開発公社の解散について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第12号	四街道市大熊記念コミュニティセンターの指定管理者の指定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第13号	みのり集会場の指定管理者の指定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第14号	四街道市市営霊園の指定管理者の指定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第15号	四街道市国民保養センター鹿島荘の指定管理者の指定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第16号	四街道市福祉作業所の指定管理者の指定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第17号	平成27年度四街道市一般会計補正予算(第4号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第18号	平成27年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第19号	平成27年度四街道市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第20号	平成27年度四街道市霊園事業特別会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第21号	平成27年度四街道市介護保険特別会計補正予算(第3号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第22号	平成27年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
発議案第6号	四街道市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
発議案第7号	四街道市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○

※議長(石山健作)は、採決には加わりません

一般質問

第4回定例会では、平成27年12月4日から11日までの6日間、17人の議員による一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。

詳しくは、市立図書館、市役所2階の情報公開室に設置の会議録（3月中旬発行予定）、または市ホームページの会議録検索（第4回定例会分は3月下旬登録予定）でご覧いただけます。

各議員が行った質問については、紙面の都合により、一部だけを掲載しました。

市ホームページアドレス：<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/>



市長の政治姿勢を問う

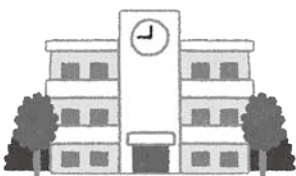
阿部治夫議員

問 航空機騒音について、好天時の南風の場合、池花、千代田の一部上空を飛行する場合の騒音に悩んでいる人がいる。最近の航空機騒音の苦情状況について問う。

答 航空機騒音の苦情等の受付件数は、平成26年度は75件であり、平成27年度は11月末現在で18件となっている。今後も羽田再拡張事業に関する県・市町村連絡協議会を通じ、国に対し更なる高度の引き上げや飛行ルートの分散化など、騒音の軽減策を講じるよう要望していく。

問 学校支援ボランティアの活動状況について、市内各小・中学校に学校支援ボランティア組織があり、学校運営に側面から協力している事は承知しているが、校庭整備や樹木剪定及び登下校時の交通安全等、各学校により様々だと思いが、活動の状況について問う。

答 市内全ての小中学校に配置された地域コーデイネーターが窓口となり、学校の求めに応じてボランティアを集め、学習活動、環境整備、交通安全指導等について支援している。学習活動支援には、稲作体験、読み聞かせ、昔の遊び体験、英語活動、戦争体験講話などがある。また、小学校4校では、夏休み中に希望児童を対象に学習支援を行っている。昨年度1年間のボランティアに協力した人数は延べ1万4千人を超え、多くの方々に、教育活動の充実に協力いただいている。



議会報告会でいただいたご意見から

関根登志夫議員

問 四街道西中周辺のゲリラ豪雨対策について。

答 四街道西中学校グラウンドに予定している雨水地下貯留施設は、「四街道駅周辺地区都市再生整備計画」による事業として、交付金を活用しながら、当該施設の工事を次年度以降から2カ年度程度の予定で実施したいと考えている。

問 不法自動車解体ヤード・違法金属・非鉄ヤードの対策について。

答 全国初となる、「千葉県特定自動車部品のヤード内保管等の適正化に関する条例」が制定されたことから、市政だより、ホームページや行政回覧を通じ、市民、事業者、土地所有者の皆さまに対し、条例等の周知、啓発を実施した。また、違法と思われる金属・非鉄金属ヤードの対策について、本年10月9日に開催された「印旛地域ヤード対策連絡会議」にて県警に要望したところ、県警としてのヤード総合対策の考え方としては、特定自動車部品を扱うヤードに限定することなく、あらゆるヤードを対象に対策を考えているとのことであった。市としては、今後とも県警をはじめとする関連機関との連携を密にしながら、不法ヤード対策を講じていきたいと考えている。



「日本一安い介護保険料」を守るために

森本次郎議員



問 「待機児童ゼロ」を実現するため、保育士の確保が重要、船橋市のような支援策を導入できないか。

答 全て一般財源で対応することは困難なことから、保育士の子の入所申請に際し、保育所等利用調整基準点を加点するなど、極力、経費のかからない手法で、人材確保に取り組んでいきたいと考えている。

問 第6期介護保険事業計画において、四街道市は市としては第5期に続き、「日本一安い保険料」を維持できた。今後とも、この水準を維持するために特に力を入れる施策は何か。

答 高齢者が要支援・要介護状態にならないように介護予防事業に取り組んでいく。また、シルバー人材センター、シニアクラブ活動など生きがいづくりや社会参加の場を充実させていきたい。

問 次世代を担う子どもたちの未来のためにも、多くの議員から要望のある「リバモア交換留学」の枠拡大を実施できないか。

答 受け入れる家庭等の負担を考慮し、20名規模が適正と考える。

問 四大文明よりも古い、3万5千年前から歴史を生かした「シティセールス」資料館の整備をすべきでは。

答 歴史的資料は本市の強みとしてシティセールスに活かしたい。資料の公開は重要と考えており、資料館については期成会とも連携を図りたい。

防災対策の充実

高橋絹子議員

問 防災行政無線の難聴地域対策として、戸別受信機が何といても必要だと思う。調査研究しているとの事だったがその状況は如何か。

答 個別受信機で確実に受信するためには宅内のアンテナ工事が必要でなおかつ受信機の価格も高額な事から市としては、情報提供サービス・よめーる等により放送内容の確認が出来るよう難聴対策を行っている。

問 ゲリラ豪雨時、車の損傷が出ないよう本市作成の道路冠水マップが必要だと思うが如何か。

答 ゲリラ豪雨において、道路冠水が生じた場合には、現地に「大雨時冠水注意」看板を設置するとともに、設置した箇所の位置図を作成し市ホームページでの公表を考えている。

問 三世代同居・近居住宅支援事業について、申請状況の詳細はどうか。

答 三世代同居・近居住宅支援事業の申請状況につきましては、1ヶ月間の申請期間を設け、予算を超える11件の申し込みがあり、公開抽選会を開催し、5件の方に補助金の交付を決定している。

問 応募要件に「2月末までに実績報告書の提出」とあるが、3月完成の方は対象にならないのは不公平ではないか。来年度応募対象となるのか。

答 応募要件につきましては、国の交付金を活用しており、年度内に実績報告書の提出をお願いしている。

次年度の予定について

成田芳律議員

問 認知症対策をどのように行っているか、また課題・問題点は何か伺う。

答 認知症対策について、具体的には、認知症地域支援推進員の配置、認知症初期集中支援チームの配置などがある。課題・問題点としては、認知症初期集中支援チームの構成員のうち、国が示す要件を満たす専門医がなかないことが課題となっている。

問 次年度予算編成方針をどう考えているか伺う。

答 国の動向や本市の財政状況等を踏まえつつ、将来都市像の実現をめざし、徹底した経常経費の見直しに取り組みながら、喫緊の行政課題にも適切に対応することを基本に、当初予算編成に取り組んでいく。

問 三世代家族同居補助の申請状況が如何か伺う。

答 三世代同居・近居住宅支援事業の申請状況については、1ヶ月間の申請期間を設け、予算を超える11件の申し込みがあり、公開抽選会を開催し、5件の方に補助金の交付を決定している。

問 教育委員会として次年度改善に向けて取り組もうとしている事は何か伺う。

答 本年度新たに設けた図書館1階展示スペースを活用した展示会を定期的に企画し、内容の充実に努める。また、青少年育成センターに配置しているスクールソーシャルワーカーについて、関係部局や児童相談所等との連携強化を図り、一層の活用に努める。

ごみ処理用地、もう後がない！

大谷順子議員

問 市は、吉岡区に対し、次期ごみ処理施設や地域振興ビジョンの説明会を開催したが、吉岡区から下水道の要望は上がっていないのか。

答 費用対効果の面から市街化調整区域への下水道整備は行わない方針から、代替策として道路側溝を整備し、合併処理浄化槽で処理した水をスムーズに流せるようにしたいと考えている。

問 1月17日に建設の賛否を問う表決が行われるとのことだが、吉岡区に対し今後どのような働きかけをしていくのか。

答 今後、吉岡区の皆さまには更なるご理解を得る事ができるよう努力する。

問 新施設建設の整備スケジュールは6年6カ月だが、現在のクリーンセンターの稼働停止はいつになるのか。

答 現段階では、現在のクリーンセンターの稼働停止は平成33年9月末を見込んでいる。

問 みそら自治会は5年以内に新施設稼働を求めているが、期間短縮の検討はしているのか。

答 現段階では、整備スケジュールをこれ以上短縮する事は困難と考えている。



小中一貫教育の充実をめざして

吉本貴美子議員

問 平成30年市内全校完全実施にむけ、26年度に千代田中学校区、今年度は旭・四中学校区、28年度は西・北中学校区と段階的に取り組みが進められている。

教職員の共通認識と負担軽減は、どのような対応がされているのか。

答 研修会の開催で市内全校の共通認識を図っている。取り組みの推進で、指導の一体化が図れ、効果的な指導・支援となり、負担軽減につながる。

問 保護者に対する説明会を実施したのか。各学校において、学校だより等を通して説明している。

答 学習指導要領の範囲内で、小中一貫教育における教育課程を新たに編成する計画はあるのか。

答 学習指導要領に示された基準に従い、9年間を一体的に捉え、系統性を踏まえた指導内容を学校の実態等に考慮し、組織している。

問 今年度旭中学校区と四中学校区で取り組んだ新たな具体例は何か。

答 旭中学校区では、各学校の授業研究会に他校の教職員も参観した。四街道中学校区では、全教職員対象に小中一貫教育推進委員会を開催した。

問 実施年度が違う四中学校区と北中学校区の中央小学校6年生へは、どのような対応がとられたのか。

答 四街道中学校、四街道北中学校は、中央小学校6年生と合同音楽発表会で交流を図るなど、中学校同士が密接に連携し、対応している。

魅力ある街づくりへ

清水清子議員

問 第18回ガス灯ロードレース大会は、雨天の中、役員、ボランティアの皆さまの協力のもと、私も10キロの部で完走できました。感謝です。そこで、今大会トラブルの内容とその対応について伺う。

答 今大会では、賞状の発行ができなくなるトラブルと、スタート時間が遅れる事態が生じた。今後の大会運営について、実行委員会等で十分協議し、再発防止に努めるとともに、トラブルの際に速やかな対応ができるよう対策を講じる。

問 自治体職員によるネットワーク「チーム千葉県」が立ち上がった。本市の参加と期待される点は何か伺う。

答 県内自治体職員を中心とした有志によるネットワーク「チーム千葉県」の勉強会「第1回チバイチバ」への当市参加職員は7名である。このような地域づくり活動への参加は、職員の成長につながる大変有意義なことであると考える。

問 本市の小中一貫教育の推進において、1ギヤップ解消も一つの狙いとあるが、特別支援を有する子ども達の取り組みについて、また、県立印旛特別支援学校への移行支援について、併せて伺う。

答 各学校では、学校の様子や必要な支援を「サポートシート」や「個別的教育支援計画」にまとめ、進学先に引き継いでいる。特別支援学校へは、見学や体験を通し、学校間で連携して移行支援を行っている。



こどもルームの指導員の処遇改善と南小ルームの分割

戸田由紀子議員

問 本市のこどもルーム（学童保育）は全小学校の敷地内に設置され6年生まで受け入れている。こどもルームの充実に向け2点伺う。

①指導員の処遇改善

②南小ルームの分割

答 ①国の放課後児童健全育成事業実施要綱の中の事業のひとつとして、学童保育に直接従事する常勤職員を対象にした放課後児童支援員等処遇改善事業が新たに加わったことから、この制度を活用し、指導員の処遇改善について検討していく。



②平成29年4月1日開所に向け、本定例会において南小こどもルーム建築工事設計委託料を計上。整備概要は、延床面積200㎡程度の施設とし、40名定員のルームを2部屋整備する予定である。

問 子どもの人権条例の制定について。

子どもの格差、貧困、虐待、いじめ、不登校、自殺、インターネットへの依存問題など子どものびのびとした成長や暖かい子育てを巡る状況は依然として厳しいものがある。子どもの人権条例制定が急がれるが、昨年12月議会以降の検討状況を伺う。

答 子どもたちが健やかに成長し、幸せに暮らせるまちづくりを進めるためにも条例の制定は必要と考えることから、策定委員会や市民参加のあり方など、実務面からの検討を行っていると考えている。

ゲリラ豪雨に負けるな！

齊藤耀一議員

問 雨水、特にゲリラ豪雨被害の解消は、どこまでやれば叶うか見えず、解決には長期間・膨大な費用を要すると思うが、市内に施されている軽減対策と今後の予定、期待される効果について出来るだけ具体的に説明願う。

答 文化センター駐車場に設置する貯留施設の工事を発注し、四街道西中学校グラウンドに設置する貯留施設は、次年度以降実施したいと考えている。また、千葉県において、県立四街道北高等学校のグラウンド及びテニスコートに貯留浸透施設の設置を行っている。これらの施設による抑制効果については、一定の効果があると考えている。

問 四街道に降る雨は3水系に流れ込むが、その水量と流れ方を把握しているか。また、総合的な対策が必要だと思いが、どう考えているか。



答 市内の水系は、鹿島川・手繰川・勝田川の3水系となり、公共下水道の雨水全体計画の中で流出経路及び流量は把握している。鹿島川水系は、現在整備中であり、手繰川水系は、公共下水道事業として整備すべく、事業認可取得を進める考えである。また、勝田川水系は、四街道西中学校グラウンドに貯留施設を設置後の対策効果を検証しつつ、当該下流である勝田川の整備状況を考慮しながら、調査・研究を行い、検討していきたいと考えている。

安心・安全にぎわいのあるまちづくり

長谷川清和議員

問 内閣府が11月28日に発表した「住生活に関する世論調査」回答者の半数以上が自宅周辺に空き家があると回答したと記事がありました。取り壊しを望む回答が大半を占めるなか、四街道市として、今すぐに取り壊しをしなければならぬと思う空き家の件数は何件ぐらいあるのか。そして、指導をした件数と、取り壊した実例はあるのか。

答 昨年行った空き家実態調査では本市の空き家率は少なかつたものの、外観上で、屋根の変形、柱の傾きなどがある家屋が6軒見受けられている。なお、指導をした件数は現在までに65件あるが、市が指導して空き家を取り壊した事例はない。

問 四街道十字路の交差点の地先が、最近、更地になったが、その更地を利用して交差点改良を行う考えがあるのか。

答 交通安全対策として、歩道隅切りを拡げる工事について、地権者のご理解を頂いたので印旛土木事務所と実施に向けて協議している。

問 中央公園のトイレを作り直して欲しいという声があるが、改修の予定はあるか。

答 四街道駅周辺地区都市再生整備計画に位置づけ、社会資本整備総合交付金を活用して平成28年度にプール側について改修工事を、平成31年度に管理事務所脇に新設をそれぞれ予定している。



小中一貫教育について

岡田哲明議員



問 平成30年4月開始を目途に進めている小中一貫教育について、旭中学区や四街道中学区など小学校と中学校の距離がある施設分離型の要因を鑑みると、移動時に相当の時間や費用が必要となり児童生徒及び教職員に負担がかかること、そして各中学校区内で条件・状況に差があることから児童生徒に混乱が生じ、それが原因でいじめや不登校へと発展することも想定される。また、未だ保護者への詳細な説明がされていないことから、もう少し時間をかけて研究・検証をし、児童生徒一人ひとり及び教職員や保護者にも十分な配慮をお願いしたいと考えるが如何お考えか。

答 小中学校合同の開催行事における移動時間や費用については、地域の実態に合わせ、目的や必要性、安全性等々、あらゆる視点で考え、研究を進めている。進学に際し、不安や戸惑いが解消できるよう5つの中学校が密接に連携しており、学習・生活環境の変化によつて、学校に馴染めないとか、いじめといった不安を軽減し、安定、充実した学校生活の実現につながる。また、保護者へは、学校だより等により周知を図っている。今後さらに、各中学校区の推進委員会や相互授業参観等、研究実践を積み重ね、小中学校9年間を一体的に捉えた取り組みにより、児童生徒への理解、個に応じた指導を一層充実させたい。

健康で安全に暮らせるためのサービス

山本裕嗣議員



問 インフルエンザ予防接種の補助の拡大、肺炎球菌ワクチン予防接種について伺う。

答 昨年度の高齢者のインフルエンザ予防接種率は、54・8%で、前年度に比べて0・8ポイント増加。肺炎球菌ワクチン接種は昨年度途中から定期の予防接種となり、接種率は45・8%である。

問 生活習慣病に対する予防対策に、心や体の健康づくりのためのスポーツ、サークル活動の推進について伺う。

答 保健推進員主催の地域ミニ講座を各中学校区単位で行っているほか、地区に保健師や栄養士などが出向いてロコモティブシンドローム（P14を参照）予防等をテーマに健康講話を実施している。

問 子どもたちを交通事故から守るために、横断歩道の白線、カラー舗装、ガードレール、道路標識など通学路の安全対策を問う。

答 横断歩道の白線引き直し、規制標識の設置等、交通規制に伴う施設の新設・改良については、教育委員会を中心に行う「通学路危険箇所合同点検」において現地を確認し、内容をとりまとめた上、千葉県警察本部へ四街道警察署を通じ要望を行っている。カラー舗装、ガードレール等についても、関係諸機関との立会いのもと現場検証を行い必要な対策を実施している。また、それ以外では、市民の皆さまからの通報や日々の道路パトロールにより交通安全施設の点検を行い、施設の更新に努めている。

郷土歴史館の整備を

宮崎昭彦議員

問 本市では、3万5千年前の旧石器時代に既に人々がこの地に住み始めたことを示す石器が発掘され、それ以降の縄文時代から近世までの各年代の遺跡・遺物、古文書等が全市に亘って発見され、また、寄贈された明治以降の民具、農具など貴重な文化財が数多くあり注目を浴びている。しかし、これらを展示・公開する施設がなく、市民の目に触れる機会が少ない。そこで、子どもも大人も「ふるさと四街道」を知ることができるとして、これらの貴重な文化財を系統的な保存・展示をし、学習できる文化財センターの機能を有する施設の整備を求める声があるが市の見解は。

答 現在、八木原小学校内歴史民俗資料室、鹿放ヶ丘ふれあいセンター開拓資料室で民具等の展示を行っている。八木原小学校の資料室は、市内小学生の社会科見学など、多くの見学者を受け入れており、今後も施設周知に努めたい。また、本年10月30日には、四街道市郷土歴史館設立期成会から「(仮称)四街道市郷土歴史館(四街道市埋蔵文化財センター機能を含む)設立に向けた提言書」が提出された。市では提言趣旨を重く受け止め、調査研究を進めていきたい。

問 広域型特別養護老人ホームの事業者選定の説明を。

答 広域型特別養護老人ホームは、本年8月上旬に公募し、選定審査会による書類審査、ヒアリングを経て、事業者候補者を選定したものである。



市長の政治姿勢を問う

中島康一議員



問 安心・安全について、防犯カメラの現在の配置は市の中心部が主であるが、通勤通学路に増設できないか。また、防犯灯も通学路や公園等で暗い所があるが増設できないか。

答 当面は既存カメラの効果検証を続け、治安動向にも注視し判断をしていく。防犯灯については、区・自治会の要望に対し、適正に判断し設置をしていく。また、公園灯を増設する計画はないが、巡回点検により樹木の剪定や灯具の交換、修繕等を実施する。

問 環境（残土・汚染水）盛り土残土は予定通り実施されるのか。予定通り実施されなかった場合の担保について、汚染水の今後について今後の対策と見直しについて問う。

答 民家脇のたい積土砂の撤去は、平成27年9月から搬出予定であったが平成28年3月から行う旨の変更報告書が事業者より提出された。第3者による履行など担保となるものはない。汚染水の今後については、事業者との協議を進め早期の問題解決を図る。

問 市民農園について、現在の状況と今後の見直し、見直しについて対策があれば問う。

答 市民農園3園の平均利用率は、近隣の貸し農園の影響等により約74%と低迷していることから、3年間を目途に市民農園の統廃合を含めた管理の効率化と空き区画の解消について検討していく。

予防医療について

市橋誠二郎議員

問 ロタウイルスは、5歳迄にほぼ全ての子どもが感染するとされ、1週間程、下痢や嘔吐更には、脳炎や脳症にも至り、本人、保護者を守り、医療費の削減のため、また、県内では事業を先行している市もあることから予防ワクチンの接種事業等を実施すべきであると思うがどうか問う。

答 このワクチンについて、国では、予防接種法による定期接種化することについての検討が進められているが、引き続き副反応等のデータ収集を行い、有効性・安全性の評価等が必要とされている。よって、現時点では、接種にかかる費用助成等は見送ることとし、定期接種化に向けての国の動向を注視していく。

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種は、生涯に一度きりの事業であるが、接種効果が高いことから接種率を高めて医療費を削減できることから、他の自治体が既に取り組んでいるコール・リコールについて、本市としても取り組んでいくべきであると思うが、どうか問う。

答 高齢者の肺炎予防は、健康増進の観点からも重要であるため、接種対象者には、個別に案内通知を発送しているほか、市政だよりやホームページで周知している。来年度は、接種対象者が忘れずに接種を行えるよう、インフルエンザワクチン接種の案内通知の中で肺炎球菌ワクチンの接種についてのお知らせも行う。



千代田中・八木原小の改修を

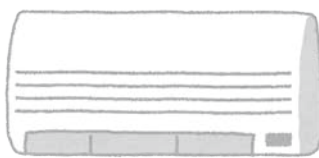
広瀬義積議員

問 千代田中・八木原小の改修について、小中学校施設の耐震対策は、終了したが、老朽化している施設があり、大規模修繕が急務である。そこで、小中学校の修繕が必要な施設についての今後の改修計画を聞く。特に、老朽化が進み危険な箇所もある千代田中学校、八木原小学校の計画を聞く。

答 施設の耐震化工事等を優先したことにより、予定していた事業を先延ばししている状況である。今後予算の許す限り、千代田中学校、八木原小学校の改修工事を実施する予定で準備を進めている。

問 小中学校教室へのエアコン設置、リース契約金額の再考について、教育委員会の算出した経費は、私の調べた他市のエアコン設置代金と比べて高額である。比較検討はされたのか。

答 平成26年度に行った設計業務委託において、各学校ごとに光熱水費を含めたトータルコスト等を比較検討し、最も効果的と見込まれる熱源を採択した。その結果、都市ガス11校、プロパンガス3校、電気3校となった。この設計積算業務における工事金額の算出に当たっては、公共建築工事積算基準、積算資料、建設物価等公共事業を設計する工事の標準となる資料に基づき積算している。労務単価の違い等があるため、他県の市とは、単純には比較できない。



委員会行政視察レポート

議会運営委員会

1 視察日 平成27年10月19日
(月)～21日(水)

2 視察先 (1)奈良県生駒市 (2)京都市宇治市 (3)亀岡市

3 視察内容

(1)生駒市(議会運営、議会改革の取り組み等について)

議会基本条例の制定をめざし、平成23年6月議会で議会改革特別委員会を設置した。協議の結果、決算委員会を9月議会中に行うこととし、その審査に合せて「事務事業評価」を試行した。4常任委員会から2事業ずつ選定し、翌年度の予算編成に反映させる要望として市長



▲生駒市にて

に対し「議会評価報告書」を提出した。次年度以降は実施されている。今後、評

価シートのフォーマット等についての協議を議員ワーキングチームにおいて行うこととした。(2)宇治市(議会運営、議会改革の取り組み等について)

平成19年11月に議長が議会運営委員会に「議会改革に関する諸問題の調査・検討」を依頼した。20年10月に「結論を得た事項」「継続事項となった事項」「不一致となった事項」に整理した報告書を議長に提出した。その後25年10月に再び議会運営委員会に「議会改革に関する調査・検討」を依頼し、26年3月に報告書を提出した。

地方自治法第96条第2項による議決事項として、①市政全般に係る政策及び施策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定める計画その他これに類するもの②自治功労者に関すること③友好都市盟約に関すること④都市間協定等に関することの4点を定めることとした。

本会議や各常任委員会について、平成27年3月議会からインターネットにより中継・録画放映を開始した。(3)亀岡市(議会運営、議会改革の取り組み等について)

平成15年に「議会活性化検討委員会」(25年3月以降議会運

営委員会)が発足した。16年から一問一答方式を導入、20年に政治倫理条例を制定、22年から土曜議会及び年4回の議会報告会を開催し、また、22年に議会基本条例を制定した。23年から本会議・委員会へのパソコン等の持ち込みを許可、24年から委員会でのネット接続を許可、25年から決算特別委員会及び26年から予算特別委員会のインターネット配信を開始した。また、議長、議会運営委員長、広報広聴会議正副委員長等がフェイスブックの活用を開始した。27年には子ども議会を開催するなど、積極的に改革を進めている。

総務常任委員会

1 視察日 平成27年10月7日
(水)～9日(金)

2 視察先 (1)熊本県熊本市

(2)荒尾市 (3)福岡県福津市

3 視察内容

(1)熊本市(第5次行財政改革計画について)

平成8年度に第1次熊本市行財政改革大綱を策定し取り組みを開始し、今年で20年目を迎える。「将来にわたり持続可能な市政運営の実現」を目標として、方針Ⅰ「市民のニーズに対応し

た質の高いサービスの提供」方針Ⅱ「時代の変化を捉えた効率的・効果的な行政運営の推進」、方針Ⅲ「確固たる財政基盤の構築」の3つの方針を設定している。

熊本市行財政改革推進委員会委員の選任について、学識経験者、報道機関関係、消費団体関係、経済団体関係者、労働団体関係者、地域活動関係者、公募委員2名の他に子育て世代代表及び学生代表の2名を新設した。また、男女の比率が半々になるように工夫している(子育て世代代表及び学生代表は行政側で指名)。

(2)荒尾市(有明優都戦略の推進について)

2030年に有明地域の優都となることをめざし、平成24年～33年度までの第5次荒尾市総合計画との融合をめざしていたが、平成27年に市長の交代があり、地方創生の方針を反映させ、新・第5次荒尾市総合計画(平成31年まで)を策定した。①「産業優都」②「市民優都」③「生活優都」④「交流優都」の4つの戦略プロジェクトにより「2030年におお有明優都戦略」を推進する。協働の意識づけから、行政のパートナーとして旧小学校区単

位の地域づくり組織「地区協議会」を設立し、平成24年度に「荒尾市協働の地域づくり推進条例」を制定した。財政支援、人的支援などにより自治力の向上や地域の一体感ができつつあり、地域の中での人材育成が進み、事務能力の向上がみられる反面、市民と行政の協働による事業の実施については、十分に実施されていない。

今後の取り組みとして、「子どもと楽しむまち」を重点戦略として「子どもと住みたくなるまち」「子どもと行きたくなるまち」と「まちの基盤づくり」施策から子育て世代をターゲットに転入、定住者を増やすことで人口減少を食い止める方針としている。

(3)福津市（郷づくり推進事業について）

小学校区を単位として8つの地域に分け、各区にて「協議会」を設置し、区内の自治会をはじめとする団体や個人が互いに協力、連携することでそれぞれの地域の課題解決や個性的な地域づくりに取り組む「地域自治活動」を「郷づくり」と位置付けている。

市民が求める行政サービスは、防犯・防災を始め子育て、空き



▲福津市にて

一つの自治会だけでは解決しにくい問題、広域の課題などで小学校区を単位として取り組んだ方が効率的・効果的なものについて協議会の事業として実施する。

福津市では毎週水曜日に郷づくりマネージャー（主に市再任用職員）と選任事務局員（各協議会が雇用する）とで、「郷づくりマネージャー・選任事務局員会議」を開いている。会議では、市から各協議会への連絡、協議会の行事や会議等の予定や報告、情報交換等をしている。

都市環境常任委員会

1 視察日 平成27年11月4日

(水)～5日(木)

2 視察先

(1)静岡県沼津市

(2)浜松市

3 視察内容

(1)沼津市（中心市街地活性化出店促進事業補助金について）

この制度は、中心市街地の活性化を図るため、対象区域内の



▲沼津市にて

空き店 舗に出 店する 個人及 び法人 に対し、 空き店 舗の改 装工事 にかかる 費用の 一部

を助成するものである。

制度導入の背景、中心市街地の現状と課題、補助金の応募状況と制度導入により期待される効果等について説明を受けた。

補助金の額は、空き店舗に係る対象工事費用の1/2以内で100万円が限度額であり、補助金交付の対象となる費用は、空き店舗に係る工事費（内装、外装、電気配線工事）の合計（税込み）となる。

(2)浜松市（中心市街地活性化基本計画について）

「集客拠点施設整備事業」は、

空き店舗等を活用した「人が集う仕組みづくり」のための拠点となる施設整備に対して助成するものである。

この事業は提案制で、商店会及び商業者を中心となり、商業、商店街の活性化等を目的として3人以上で組織する団体、商店会と連携して事業実施する特定非営利活動法人、社会福祉法人等の3人以上で組織する団体等が対象となる。補助金の額は、補助対象経費の1/2以内で、限度額は1000万円である。

また、商店街の利用を高めるような魅力づくりのために実施するイベント事業に対して助成する「賑わい創出事業」は、商店会及び商業者を中心となり、商業、商店街の活性化等を目的として3人以上で組織する団体が提案する事ができ、補助対象経費の1/2以内で、限度額500万円の助成が受けられる事業である。

また、地域の商業、商店街の魅力アップのために実施するソフト事業に対して助成する「商店街活性化事業」は、補助対象経費の1/2以内、限度額200万円であり、セミナーの開催、商品・サービス開発などが助成対象となる。商店街の空き店舗

解消と魅力向上を図るために実施する事業に対して助成する「空き店舗活用事業」では、補助対象経費の1/2以内、限度額150万円が助成され、空き店舗への新規出店などが助成対象となる。

教育民生常任委員会

1 視察日 平成27年10月13日
(火)～15日(木)

2 視察先 (1)長野県安曇野市
(2)松本市 (3)茅野市

3 視察内容

(1)安曇野市(安曇野市国民健康保険事業実施計画(データヘルス計画)について)

この計画の位置づけと期間は、すでに策定済の「健康日本21」計画との整合性を図るとともに、計画期間は「特定健康診査等実施計画第2期」の最終年度である平成29年度までとした。

地域の健康課題は、死亡原因として脳血管疾患が高い状況にあることである。脳血管疾患による後遺症が発生し、第2号被保険者の介護認定の原因疾患をみると脳血管疾患等が48・3%を占め介護度も高くなっている。一人あたり国保医療費は、全国平均32万1378円に対し

安曇野市は32万8568円(平成25年)と国や同規模自治体の平均より高くなっている。

入院と外来の件数と費用額の割合は、入院2・6%で費用額全体の約38・6%を占めていることから、重症化(入院)予防への取り組みの推進している。

(2)松本市(松本市健康寿命延伸都市をめざした取り組みについて)



▲松本市にて

伸都市の創造は地域が基盤である。行政区が35地区あり、そこに地域づくりセンターを設置した。35地区のうち15地区にはセンター長が配置されている。保健師の地区担当もある。松本市は健康づくり計画期間が平成23年～32年までであり、計画のポイントは「メタボリックシンドローム」と「ロコモティブシンドローム」の予防である。

平成25年3月14日「健康寿命延伸都市」とすることを宣言した。健康寿命延伸

一次予防を重視し、生涯を通じた健康づくり(妊娠期～高齢期)を、地域や企業・団体と連携して取り組む。健康づくり課職員は80名。内容の充実とそその人の健康をトータル的にみていく。

(3)茅野市(第2次茅野市子ども家庭応援計画どんぐりプラン後期計画について)

担当者や関係者が変わっても、「茅野市子ども・家庭応援計画(どんぐりプラン)」を継続して維持推進していく仕組みをしっかりと担保し、裏づけとなる理念や基本方針が示されるよう平成25年1月「茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例」を施行した。

条例には、プランの推進と評価を目的に「茅野市子ども・家庭応援協議」の設置が明記され平成25年2月14日に設置された。

子どもの居場所づくりへの支援で、茅野市子ども館として平成14年1月に0123広場(おいつちにつさんひろば)、4月にCHUKOR(チュウコロ)らんちノチノを設置した。0123広場は、地域の方による「0123広場運営委員会」が定期的に開催され、運営についての課題や反省等を検討している。カード代として100円を負担、後は無料

で使い、年間2万組が利用する。

CHUKORらんちノチノ設置にあたり、中高生の建設委員会を設け、施設建設や運営ルールについて検討をした。それにより自分たちの城・場所という気持ち強い。また、子どもも利用できない。職員3名が2名ずつ交代で見守り、子どもたちによる「子ども運営委員会」(中学生2名、高校生17名)を毎週水曜日に開催し、事業の企画などを行い定期的に開催される大人サポーター会議と一緒に課題などの検討を行っている。平成25年4月、「子どもの居場所ダイレクター」がCHUKORらんちノチノに配置された。地区子ども館は、市内10地区に設置され、地区ごとにコミュニティセンターと図書館の分室がある。そこを中心にごどもの居場所「屋根のある、本のある居場所」とした。放課後は小学生、午前中は未就園児の親子が利用している。

※1 内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい病態。

※2 加齢に伴う筋力の低下や関節や脊椎の病変、骨粗しょう症などにより運動器の機能が衰えて、要介護や寝たきりになってしまったり、そのリスクの高い状態。

平成27年第2回議会報告会を開催しました



▲全体会の様子

平成27年第2回議会報告会を10月24日(土)に文化センターで開催しました。ご参加を頂きました市民の皆さま、誠にありがとうございました。また、当日、アンケートにご協力を頂きありがとうございました。

報告会の概要と頂戴したアンケート結果の一部を掲載します。

1. 参加人数 11名

- ・性別 男性：6名、女性：0名
- ・参加回数 初めて：3名、2回目：1名、3回目：1名、4回目：1名
- ・年代 40代：2名、50代：1名、60代：0名、70代以上：3名

2. アンケート集計結果 アンケート回収6件

(1) 主な意見内容について

- ① 議長の9月議会報告のレジメを配布してほしい（昨年も要望）。
議会を傍聴していない人が初めて話しを聞くにはわかりづらい。
- ② 決算審査報告が丁寧でわかりやすかったが、もう少し深く説明があると良かったと思う。
- ③ 全体会での意見の発言時間を保障していない。報告会運営は「開かれた身近な議会」をめざすべき。
- ④ 都市環境常任委員会において雨水問題をしっかり取り組んでくれていることがわかった点は良かった。
- ⑤ 教育民生常任委員会の分科会で発言のあった介護保険の給付は現実の介護難民問題の解決を図るべき。

(2) 今後取り上げて欲しいテーマ

- ① ゴミ焼却施設の今後の方向性を示してほしい。

(3) 自由意見コーナー

- ① 雨水対策の現状や対策の状況、全体計画や地図等がわかるような情報発信をお願いしたい。
- ② 議会報告会の市民の参加者が大変少ないと感じた。
より実行性のある広報が必要ではないかと思う。
- ③ 意見交換の内容は広く市民に報告されるのか、できれば市民に報告を。



▲全体会の様子

第1部 全体会（9月議会報告及び平成26年度決算審査報告）

9月議会報告

9月議会は17名の議員から一般質問が行われ、教育、福祉、環境、街づくりに関することなど幅広い議論が行われました。

議案は平成27年度一般会計・特別会計補正予算を含め25件の審議を行いました。

平成26年度決算審査報告

平成26年度の一般会計決算額は、歳入267億3,048万円、歳出253億6,505万円で、前年度に比較して歳入は1.1%増加、歳出は2.6%増加となり、予算現額269億4,678万円に対し歳入99.2%、歳出94.1%の執行率となりました。

特別会計決算額合計は、歳入177億3,396万円、歳出171億7,093万円で、前年度に比較して歳入2.8%増加、歳出3.4%増加となり、予算現額177億2,279万円に対し歳入100.1%、歳出96.9%の執行率でした。

意見交換の主な内容

【市民】 市税の徴収率92%だが税の範囲は。空き家について、条例の制定は考えているか。地下水汚染に関してどのような対策をしているのか。

【広瀬委員長】 市民税、法人税を含めている。空き家の条例については、国の法律が充実してきたことから、改善されている。地下水汚染について、トリクロロエチレンを無害化するようばっ気作業をしている（平成13年から）。

【市民】 決算について、単年度収支が4億4,299万円赤字になっているが、総合計画では5年間の単位で作っているから良いのだと言っている。皆さんはどう考えるのか。

【広瀬委員長】 財務部局からそれぞれの支出の削減をしているし、実際には3億円の支出抑制をめざしている。

第2部 分科会(各常任委員会のテーマごとに意見交換会)

(1) 総務常任委員会

- ①テーマ ア. 街路灯のLED化について
イ. 四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ②参加者 0名

(2) 都市環境常任委員会

- ①テーマ ア. 集中豪雨による市内溢水対策について
イ. 四街道市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の改正について
- ②参加者 8名
- ③意見交換の主な内容

【市 民】 第3排水路など地図を頂いてよくわかるようになった。雨水の問題は大きな問題だと思うが、全体的な計画がわかる情報がまとまって見えないのが不安、情報をもっとほしい。この地図をPDF化して市のホームページに載せるなどお願いしたい。

【斉藤委員長】 断片的に聞いた話しかなくて、時間50mmという現象が現実におきているが、その対策が出来ていない。例えば第3排水路の流末計画を見てみただけでも10年ぐらいかかる。



▲分科会の様子(都市環境常任委員会)

(3) 教育民生常任委員会

- ①テーマ ア. 小・中一貫教育について イ. 介護保険について
- ②参加者 5名
- ③意見交換の主な内容

【市 民】 小中一貫教育により中1ギャップの緩和が具体的にどのくらい成果がでているのか、緩和の中身が知りたい。小中一貫ではあまり成果がないとの声もある。

【森本議員】 中1ギャップとはちがうが、英語教育で成果を上げている。

【戸田委員長】 結果が見えてくるのはまだ先だと思うが、小学校と中学校では授業形態が違う。子どもたちにはとまどいもある。中学校の先生が小学校に出向いて交流している。

【市 民】 地域包括支援センターの機能強化が望まれるが、今のセンターは基幹型で、もう1ヶ所南部に作るとのことだが、基幹型と通常型を兼ねるのか。また、介護予防・日常生活支援総合事業、果たして29年度からスタートできるのか不安だが如何お考えか。

【戸田委員長】 南と北に1ヶ所ずつ、その他中学校区に1つが望ましいという考えもあるので、今後考えて行きたい。総合事業は29年4月をめざして、事業者と話を進めている。具体的にどうできるか今は言えない。

寒い日が続いています。お身体にはご自愛ください。広報広聴特別委員会として、委員長を中心に、より読みやすく、また読みたくなる議会だよりに向けて活動を続けて参りました。一例を申し上げますと、一般質問について質問と答えを順序だてにし、又委員会審査の質疑を簡略化し、わかりやすくしてきました。

編集後記

次号は新たな議会として、一層より良い議会だよりになりたいと考えておりますので、ご意見又ご指導のほど、何卒宜しくお願いします。皆さまのご健勝を委員一同お祈り申し上げます。

◎清水 清子 (成田 芳律記)
○関根登志夫

成田 芳律 大谷 順子
戸田由紀子 岡田 哲明
森本 次郎

(◎委員長○副委員長)

表紙写真を募集します

議会だよりでは、市民の皆さまに応募いただいた写真を表紙に掲載いたします。募集要領は以下のとおりです。奮ってご応募ください。

募集要領

- 規 格：2L(紙焼き)、カラーあるいはモノクロ(未発表、未公開のオリジナル作品)
※写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は返却いたしませんのでご了承ください
- 内 容：四街道市内の風景
※明らかに人物を特定できる場合はご本人の了承を得てください
- 審 査：広報広聴特別委員会
- 発 表：採用された作品は、5月15日発行の市議会だよりに掲載
※賞品等はありませんのでご了承ください
- 著 作 権：作品の著作権は製作者本人に帰属
※ただし、6ヶ月間他媒体での発表等をご遠慮いただくことを作品採用の条件といたします
- 応募方法：平成28年4月8日(金)(当日消印有効)までに、写真の裏面に撮影者の①住所②氏名③年齢④電話番号⑤撮影年月日⑥撮影場所⑦作品名を記入の上、〒284-8555 四街道市鹿渡無番地 四街道市議会事務局宛て郵送
- 問い合わせ：TEL.043-421-6152 FAX.043-424-2016
市ホームページアドレス
<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/>